

学発番号: 学18-037
事業名: 遺伝子検査研修会
日時: 平成30年11月24日(土) 13:30~16:00
場所: キャンパスプラザ京都 第一会議室
主 題1: 医療法改正で求められる遺伝子関連検査の精度保証
講 師1: 庄司 月美 技師(京都大学医学部附属病院)
主 題2: 核酸抽出を極める”核酸抽出の基礎と適切な前処理”
講 師2: 喜田 優人 技師(京都大学医学部附属病院)
主 題3: 病理検体の適切な取り扱いを通して核酸抽出を極める
講 師3: 山口 直則 技師(綾部市立病院)
参加数: 総数:17名(京臨技会員:11名)
報告者: 庄司 月美(京都大学医学部附属病院)

以下、講演内容など

1題目では、2018年12月1日施行の医療法等の改正に伴い、その改正内容と臨床検査の精度を確保するために検査室に求められる取り組み(標準作業書、各種台帳、作業日誌の作成等)について解説をおこないました。2題目では、核酸抽出の基礎と現在使用されている方法・原理や、JCCLSの検体品質管理マニュアルに基づくプレアナリシスの注意点を解説いただきました。3題目は、がんゲノム医療の実装に向けて核酸品質を保つための適切な病理検体処理について解説いただきました。